

2024年(令和6年)5月29日(水)第31回例会(通算3013回)

2023-24年度 ◆クラブ会長テーマ◆ 「奉仕の輪を広げよう」

会長：前原 博一 副会長：宮城 早人 幹事：今西 敦之
直前会長：大浜 勇人 副幹事：新里 裕樹 会場監督(SAA)委員長：新川 正人



世界に希望を生み出そう

2023-24年度RI会長テーマ

RI会長：ゴードン R.マッキナリー

栃木一夫ガバナー 地区基本方針

「持続可能な元気なクラブを実現しよう」

地区の合言葉

「ロータリアンの心に火をつけよう」

” Get the joy of Rotary”

今月のロータリーレート 1\$¥157

八重山の民謡

石ぬ屏風節 (本調子) 中位

※この歌は、1771年「宮良里賢」が、西表首里大屋子職に拝命された時に船浮村の大自然の風光明媚に魅了され早速琉歌体にて作歌、作曲したものと伝えられている。なお里賢は「でんさ節」作歌、作曲している。1773年4月4日公用で首里へ上国の途中台風で行方不明、53歳であった。(作歌・作曲 宮良里賢)(八重山民謡誌より)

●石ぬ屏風立イシ ミヨウブていていタスリ 七重八重ナナイヤイウチ内にヤウ(大自然の大岩山が屏風のように、七重八重に立って見える)

ヒヤスリ船浮フナキムラ村ユいつい世スリ 弥勒ミルクユガフ世果報ヤウ スリ(船浮村は創立され千代万代なでも、弥勒世で果報の世である)

●船浮フナキくばでさヤスリ 枝持エダムツイぬ美チユらさヤウ(船浮村の老木クバデサは見事な、枝振りであるが)

ヒヤスリ船浮女フナキミヤラビ童ミムツイデユぬスリ 身持美らサヤウ スリ(船浮村の乙女は、名木以外に美しい)

祖内嵩節 (本調子)石ぬ屏風節のちらし

※祖内嵩は、祖内村の東南方向近くに聳えてたっている山で、高さ292メートル、その山から発する水によって周辺は皆水田となっている。1814年、西表首里大屋子に赴任された「大浜善繁」は、祖内嵩に登って設計図を書き村民と一団となって祖内嵩の岩山を切り壊し、全長約200メートル幅5メートル位の新道路を開通させた。一大土木工事であった、その新道路の完成記念に作歌・作曲されたと言われている。大音楽家で天才的な美術彫刻家であった。与那覇節・布晒節も作歌・作詞している。(作歌・作曲 大浜善繁)(八重山民謡誌より)

●西表イルムティぬ祖納スナイダキ嵩ウイ上ウイなか上なかヤウ(西表島の祖内嵩の上には)

※ハイヒヤウンナ「」内は繰り返す(以下同じ)

●昔ムカスイユ世カンば神ユぬ世タボば「給られ」(前世・奉平の世・神話時代の世・五穀豊穰の世を給われ)

解説:昔世とは、前世・奉平の世、世の中が平穏でよく治まるの意。

神の世とは、歴史の始まる前の神話で伝えられている時代「神話時代」

5のプログラム

5/29(水)会員卓話:比嘉一史氏

例会日 水曜日 12:30~13:30
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
TEL/FAX(0980)83-2917
E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

- ◇総会員数：57名（名誉会員2名・出席免除会員2名）
 ◇出席義務会員数：53名 ◇出席人数：33名 欠席人数：22名 出席率：62.26%
 ≪司会進行：黒島 勝・石川 尚吾≫
 ◇ロータリーソング：君が代 奉仕の理想 ◇ソングリーダー：木下 省三
 ◇ピ ジ タ ー：国際ロータリー第2630地区 可児RC：新田喜信様
 国際ロータリー第2730地区 宮崎アカデミーRC：水居徹様
 ◇メ ー ク ア ッ プ：新川 正人 仁開 一夫

【第11回理事会報告】

- 1) .クラブ会費の徴収方法について：全会員が上期・下期に分けて振込むこと、
 または毎月の支払希望の会員は各自で振り込むことで承認
- 2) .例会場での昼食料金値上げのお願いについて：保留（次回の理事会へ持ち越し）
- 3) .世界平和の鐘の会沖縄県支部への会員加入について：継続で承認
- 4) .5月・6月プログラムについて：承認

◆会長挨拶◆
 前原 博一



みなさま、こんにちは。本日の例会出席ありがとうございます。

5月に入り、ゴールデンウィークがあり、休会が続く久しぶりの例会で少し緊張しております。先週は、姉妹クラブである岡崎南ロータリークラブ60周年周年事業に出席して参りまして参りました。とても素晴らしい60周年の記念式典でありました。岡崎南 RC の周年事業の数日前に、友好クラブである札幌真駒内ロータリークラブ50周年がありました。どうしても日程の調整ができず、上原先生に出席して頂きまして本当にありがとうございます。

5月の月は私の仕事上、3月の確定申告に続き、第2のピークの繁忙期になります。

3月決算法人が多く、その法人の申告期限が5月末になりますのでまさに戦いの月でもあります。

その戦いの月ですので、今回のあいさつでは、職業奉仕として少し仕事のお話しをしたいと思います。

私は仕事上、いろいろな税金の計算をしますが、特に難しく思うのが、相続税です。

相続税は人の死を原因として発生するものから、所得税や法人税と異なって、相続人間の感情的なものが多く介入する部分があります。そこがとても奥が深い税だと感じております。相続税は相続財産が基礎控除以下であれば相続税は発生しません。

基礎控除は3千万+60万×法定相続人の数となりますので、基礎控除額は相続人の数によって大きく金額がことなることもあります。

相続財産が基礎控除以下であれば相続税は発生しません

ので、その財産をどのように分割するかを遺言があればそれに従いますが、相続人間で話し合いになります。

つまり遺産分割協議です。

この基礎控除額を超える財産があるのか、ないかを計算していきますが、不動産、預金が主な財産の構成になります。中には名義預金というものがあります。

名義預金についてとても注意を払います。

名義預金とは、口座の名義人とその口座にお金を入れた人が違う預金のことです。たとえば、夫から妻に毎月の生活費をもらい、そのもらった生活費を妻が自分の口座で管理していた場合、生活費という名目で通常生活費で使いきる金額以上の金額を毎月のようにもらっていた場合、妻の口座はどんどん膨らんでいきます。

このような場合、夫(被相続人)に相続が発生した場合、夫の財産(名義預金)として相続財産に含めて基礎控除の判定をおこなっていくことがあります。

夫(被相続人)の本来の名義の財産だけでは基礎控除以下の場合でも、妻(配偶者)の口座が名義預金として計算した場合、基礎控除を超え相続税が発生することがあります。

このように亡くなられた被相続人(夫)の財産のみならず、その妻(配偶者)、子の財産まで出来る限り財産の構成を確認する必要があります。相続税ではこの名義預金が問題になる場合が多いのでこのような財産があることも一つ覚えておくのもいいかもしれません。

本日は、ロータリーという職業奉仕として仕事に関係する内容でのあいさつでした。

また、残り4、5回のあいさつがありますので、もう1、2回は仕事に関係するお話しをしたいと思います。それでは本日もよろしくお祈りします。ありがとうございました。

◆ 幹事報告:今西 敦之 ◆

理事会報告:2024-25年度のクラブ会費の徴収の件でございます。現行、毎月引落をしている会員が6名、上期・下期の2回に分けて引き落している会員が15名います。そして、上

期・下期の2回に分けて会員自らが振り込んでいる会員が34名の合計55名です。今回、この会費の徴収の件を変更したといたしました。これは2点の理由の観点として。1点目：会費というのは会員自らが手数料を支払って振り込むことだということと、もう1点目は、引き落としをしている事務局の手間と時間がかかるということでございます。この2点の観点から、好評を期すため、また事務局の仕事をシンプル化にすることにつきまして、次年度より会員全員に上期・下期の2回に分けて振込をしてもらう。そして、毎月引き落としの会員は毎月指定口座に振り込んでいただくという、この二つの徴収方法に切り替えさせていただきます。2024-25年度宮城会長年度よりスタートさせていただきますので、ご理解のほど宜しくお願いいたします

報告事項①6/9(日)前原会長の肝いりでございます「奉仕の輪を広げよう」石垣島マラソンに続きまして第2弾、ハーリーに20名で参加する予定でございます。抽選ということになっておりますが、当選が決まりましたら、練習も兼ねてやっていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。参加者の皆さんには、後ほど国仲部長よりSlackにて案内をさせていただきます。

②6/12(水)例会後、15:00 船に乗って指田文庫の寄贈に行きまして参ります。ご参加できる会員の方は宜しくお願い致します。

③6/16(日)献血車両支援活動がマックスバリューやいまで行います。前回同様、八重山高校の生徒さんも参加されるということでございますので、午前・午後に分かれて献血活動を行います。お時間頂ける方はご参加を宜しくお願い致します。

☆ 会員・委員会からの報告 ☆

上原秀政パスト会長:5月11日(土)北海道札幌真駒内RC50周年記念式典がございました。私は2014年の時に石垣RCの会長を務めましたが、友好クラブ締結時の会長として招待を受けました。まさか会長の責任がこういう形でまた回って来るのかなどビックリ致しましたが、絶対に行かなくてはという思いと、ゴルフもあるということでゴルフも楽しみながら行って参りました。10日(金)石垣から出発し、北海道に着いた時はもう夕方になっていました。午後7時からウエルカムパーティがあって、妻と二人で少し遅れて行きました。会場に入ったらいきなり拍手で迎えられて、石垣RCからははるばる来たということで、挨拶もいきなり頼まれて、原稿も準備していなかったんですが、挨拶をさせていただきます。ウエルカムパーティから始まって、大歓迎を受けまして、翌日の午前中は、私はゴルフに、妻は観光に参加しました。台北大同RCからも20名以上の参加がありました。私は初めて北海道でゴルフをしましたが、天気も良く涼しくてゴルフ日和に恵まれました。式典は5時からあり、懇親会は6時半からで、アイヌの民俗芸能もあり、だんだんと盛り上がりまして最後は「手に手つないで」を全員で輪になって歌って、最後の閉会の時に涙ながらこんなに素晴らしい記念式典祝賀会ができた本当に感動したという閉会の言葉でした。とても盛大に盛り上がりまして、本当に恐縮するぐらいの歓迎を受けました。また機会があれば伺いたいと思います。お土産も預かってきましたので、会長へお渡しいたします。また、台北大同RCが4月に40周

年記念式典をしましたデータを預かってきましたので、それも会長へお預けいたします。以上、ご報告とさせていただきます。

◆ 会員卓話：西表 晋作 氏 ◆

(株式会社 由布島 代表取締役社長)

テーマ:由布島について

こんにちは。今日は、由布島について歴史的なものから将来どういった形に持って行こうかというお話をしていこうかと思っておりますので、宜しくお願い致します。まず初めに簡単な自己紹介。沖縄本島で生まれましたが、幼稚園の時に母親と一緒に由布島に移りました。母親がもともと由布島に住んでいましたので帰って来たという経緯があります。西表島の大原中、那覇西高校を卒業後、広島外語専門へ、当時から由布島の旅行業をしていましたので、観光関係のを勉強しようということで、外語という名前なんですが、旅行業の勉強をしまして、国内旅行業の資格は持っています。卒業後はニュージーランドへ留学、2年間ほどいました。ニュージーランドに留学していた時に、今の奥さんと出会い結婚、その後、一緒にニュージーランド、そしてオーストラリアには1年間滞在していましたが、早めに帰った方が良いかと考え、2002年に帰って来ました。すぐに由布島に入社というわけではなく、いろいろ経験を積みたいと思い、沖縄本島で派遣添乗員の仕事をしていました。旅行業を持っている方は分かると思いますが、今の添乗員さんは派遣が多いんですね。僕は、阪急交通社の添乗員が多かったです。その頃、沖縄の観光業の団体客は、繁忙期が違うんですね。冬場が多くて夏場が閑散としている。夏場はどこに行くかという北海道なんです。北海道は5月頃から団体さんの受け入れが始まります。ラベンダー祭りやカニ、涼しいというのがありますので、5月～11月末は北海道が多いので、北海道の方に派遣として、応援部隊として添乗員をしていました。北海道は大きいので大変でした。その頃は駆け足ツアーが多かったです。朝8時ごろ出発をしてホテル戻りは夜7時、それからご飯食べてというサイクルで移動時間も3時間とかできつかったですけれども、今ではいい経験をさせてもらったと思います。その後、由布島に帰って来て副支配人、今は代表として由布島にいます。

由布島に人が住みだしたのが、昭和の初期あたりです。その頃、農業で仕事をしたい時に、竹富島や、小浜島、黒島などもそうですが、由布島には山がなくて水がないということで、畑の仕事ができない、何を植えても育たない土壌だったんですね。ですけれども西表島に関しては、山があるし水があるので、皆さん他の島から移り住んで来ていました。最初、由布島の方には黒島と竹富島の方から来て掘っ立て小屋を作ってそこに仮住まいをして、通いで西表島の方で田んぼを作っていました。由布島の向いにも田んぼが沢山残っていますし、古見の方にも沢山田んぼがあります。一説によると古見という名前もお米からきているのではないかとされています。そんな中、移住されたのが、うちのおじいちゃんおばあちゃんです。おじいちゃんは、一時期台湾に疎開して軍隊にも入ったりして帰って来て、

由布島に移住をして田んぼをしていたそうです。それから転換期が来ます、それが昭和 44 年 9 月にエルシー台風、この台風はもの凄く大きかったそうです。由布島は、標高 1m50 cm ぐらいしかない小さな低い島になっています。なので大潮とか満潮時になると完全に水没した島です。当時、大きい台風が来たので、何処に逃げたかという由布島の校舎は鉄筋コンクリートの校舎だったので、皆さんそこに避難したそうです。恐い思いをしたので、住民の皆さんは西表島の三原に移りました。うちのおじいちゃんは当時、芋を作っていました、昭和初期の方はなかなかいろんな物が採れないので、お米を作っても税金で自分たちは食べられないので、お芋をよく食べていたそうです。昭和 50 年代から創業してやっちはいるんですが、最初は水牛者 2 台、お客様は一桁の 7 名で、100 名を超えると思われていたようです。それから新しいレストランを作ってやっちはいくうちに、2004 年に来場者数が年間 30 万になりました。その当時は僕も帰って来ていましたので、水牛者の運航をしていました。1 日 1,600 名、MAX で 2,000 名ぐらいのお客様が来ていました。その時は休む暇もなく、10 時から 4 時までひっきりなしに牛舎が回っていましたが、レストランの食事時間も 30 分や 15 分で切り上げたり、乗務員さんも水牛者の前でご飯を食べたりと、それぐらい忙しかったです。今はコロナもあって落ち着いてはいますが、年間でいうと 19 万人ぐらいになっています。去年の年間売上高は、4 億 5 千万円ぐらいで、ようやくコロナの前に戻りました。コロナに入ってから 1 億もない時もあったんですが、そこでいろんなことが起きて大変だった

のですが、ようやく回復をしたのかなと思っております。スタッフも 45 名ぐらいです。以前に比べて国際色な人財になっています。インターシップ生も 5 名います。台湾と沖縄の方から来ています。ネパールの方が 2 人、他のスタッフは県外の方が多いので、チャンプ的な人が揃っています。これからはどういうふうになっていこうかということですが、以前、僕はオンラインで観光を勉強していたことがあって、その時に言われていたことが、観光業は輸出産業なんですよと言われてきました。確かにお客さんは他から来て、他からお金を持って来る、いわば外貨が発生しているということで、確かにそうだなと思っております。最近インバウンドの方が増え、特に欧米の方が増えています。コロナの前は中国、台湾が多かったですが、今は欧米の方が多いですね。英語を勉強していて良かったなと思っています。現場で接客していますので、英語で対応できるので、役に立っているのかなと思っています。西表島も世界遺産になって、これからもどんどん増えていくと思います。今言われていますのが、観光公害、いろんな問題も出てきてはいますが、インバウンドも受け入れをしながら、上手く対応出来ることを考えていかなくてはならないと思いますし、実際に、輸出産業というのはインバウンドのことだと思いますが、県外から来られる方も僕らからすると輸出産業というのは一緒じゃないかなと思っていますので、国内の方もインバウンドの方も大切にしながら、これからも頑張っていきたいと思っていますし、未永くやっていきたいと思っています。本日は、ありがとうございました。



上原秀政パスト会長 札幌真駒内 RC 周年行事に参加のご報告



西表晋作会員 卓話ありがとうございました。

- 本日のニコニコ:** ☆新田喜信様(可児 RC) ☆前原博一会長:水居さん、新田さん、本日はメイクアップありがとうございました。
 ☆今西敦之幹事:上原秀政パスト会長、札幌真駒内 RC 式典ご参加ありがとうございました。西表晋作会員、本日の卓よろしくお願ひ致します。
 ☆上勢頭保氏:本日の由布島の卓話に感謝!
 ☆橋本孝来氏:西表さん卓話ありがとうございました。 ☆森田安高氏:久しぶりの例会参加です! よろしくお願ひします。
 ☆大田次男氏:会員の皆さま、日々色々お疲れさまです。例会で癒して今日も良い日でありますように!
 ☆宮城早人氏:4 水居様、新田様 本日のメイクアップありがとうございました。石垣島を満喫してください。
 ☆新垣精二氏:アップル車検グループ全国大会で「総合優勝」をいただきました。ありがとうございました。

◆BOX ¥9,000(累計 ¥544,440) ◆コイン ¥2,433 (累計 ¥51,640) 合計 ¥596,080



国仲恵亮氏 1 日(水) 仁開一夫氏 3 日(金)
 宮城隆氏 6 日(月) 漢那憲隆氏 14 日(火) 大浜勇人氏 15 日(水)

